

全通研2024年度代議員会特別決議
「ウクライナ及びパレスチナ地域における即時停戦を求めます」

2022年2月に開始されたウクライナへのロシアによる軍事侵攻は、多数の死傷者や難民を作り出しながら今もなお継続しています。また、2023年10月にはパレスチナ地域へのイスラエルの軍事侵攻が始まりました。

全通研は、一昨年、昨年と2年続けて代議員会でウクライナへのロシアの軍事侵攻の即時停止を求める特別決議を承認し、即時停戦を求める意思を表明しました。また、国連や日本の国会・各地方議会をはじめ、国内外のさまざまな団体から同様の意思表示がされているところです。

この侵攻は、ウクライナの国家主権とウクライナ国民の人権を侵害すると共に命と暮らしを破壊し、ウクライナ・ロシア両国の国民を深く傷つけるものであり、断じて認められません。

また、社会的に支援が必要な人々に与える影響、とりわけ、すべての障害がある人、中でもコミュニケーション支援が必要な聴覚障害者並びに支援を担っている手話通訳者に与える影響について、私たちは深く憂慮するものです。

このたびのイスラエルの軍事侵攻が与える影響についても、私たちは同じ憂慮を抱きます。

ここに、私たちは、あらためてすべての戦争に反対すると共に、平和を求める国内外の関係者と連帯し、ウクライナ及びパレスチナ地域における即時停戦を訴えます。

以上

2024年5月26日
一般社団法人全国手話通訳問題研究会 2024 年度代議員会出席者一同